

## バラの改良切り上げ方式による増収効果及び切り上げ時期の影響

### [要約]

「アバランチェ+」、「サムライ 08」等主要 6 品種は、改良切り上げ方式による切り花栽培において、切り花長が短くなるものの増収する。また、6 月切り上げ開始では切り花品質が大きく低下する「ヴァニティールージュ+」では 11 月切り上げ開始により、70cm 以上の切り花の減少が軽減される。

茨城県農業総合センター園芸研究所

令和 2 年度

成果  
区分

技術情報

### 1. 背景・ねらい

バラ切り花生産において、高単価で取り引きされる冬季は低日照等の影響で生産量が減少するため、多収栽培技術の開発が望まれている。そこで、アーチング方式をベースに主流品種に適した整枝剪定方法を検討する。具体的には、ベーサルシュートを株元から残して採花し、その後、切り上げ採花を行う「改良切り上げ方式」（図 1）による増収効果の品種間差及び切り上げ開始時期の影響を明らかにする。

### 2. 成果の内容・特徴

1) 採花本数は、いずれの品種においても、切り上げ区の方が慣行区よりも多い。切り上げ区では、慣行区と比較し、「アバランチェ+」で 40.0%、「ヴァニティールージュ+」で 20.9%、「ゴールドラッシュ」で 83.1%、「サムライ 08」で 62.7%、「ブリランテ」で 44.6%、「リメンブランクス」で 51.8%増収する（表 1）。

2) 切り花形質は、切り上げ区が慣行区に比べ、切り花長が 8 cm 程度短く、切り花重が 13g 程度軽くなる。茎径も 3 mm 程度細くなり、切り花品質は低下する（表 1）。しかし、可販果収量（40cm 以上）が増加することで、所得は慣行比で 189%～4%増加する（データ省略）。

3) 切り上げ開始時期が 6 月の場合、「アバランチェ+」及び「ヴァニティールージュ+」では、「サムライ 08」等の他品種と比較し、切り上げ区の 70cm 以上の切り花が減少する傾向が顕著であり、切り上げ開始後 4 段目や 5 段目になると茎径が細くなり、茎が折れてしまう現象が目立つため、6 月切り上げ開始の切り上げ採花に適していない。しかし、切り上げ開始時期を 11 月にすることで、「ヴァニティールージュ+」では切り上げ区の 70cm 以上の切り花減少割合を大きく改善できる（図 2）。

### 3. 成果の活用面・留意点

1) 本成果は、「アバランチェ+」、「ヴァニティールージュ+」、「ゴールドラッシュ」、「サムライ 08」、「ブリランテ」及び「リメンブランクス」を用いて得られたもので、他品種では「改良切り上げ方式」の効果異なる可能性がある。

#### 4. 具体的データ

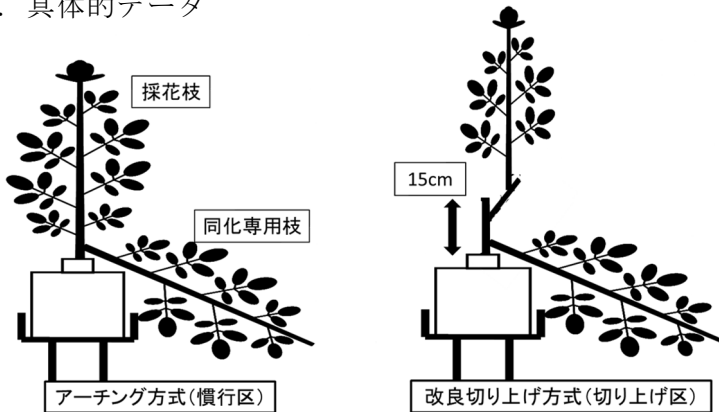


図1 アーチング方式（慣行区）及び改良切り上げ方式（切り上げ区）の株元

慣行：アーチング栽培による株元採花。

切り上げ：ベーサルシュートを株元から15cm残して採花し、以後は5段目まで5cmずつ切り上げ採花を行い、5段目以降は、1段ずつ切り下げる方式。

表1 バラ栽培における整枝剪定方法が採花本数と切り花形質に及ぼす影響

品種	整枝剪定方法 <sup>1)</sup>	採花本数 <sup>2)</sup> (本/株)	増収率 <sup>3)</sup> (%)	切り花長 (cm)	花首長 (cm)	花高 (cm)	切り花重 (g)	節数 (節)	茎径 <sup>4)</sup> (mm)
アバランチェ+	慣行	11.0	—	70.8	9.5	5.3	47.3	14.9	6.4
	切り上げ	15.4	40.0	62.0	9.5	5.0	35.4	12.1	5.6
ヴァニティールージュ+	慣行	8.9	—	77.4	8.9	5.3	50.4	15.3	6.7
	切り上げ	10.8	20.9	68.8	9.0	5.1	42.0	12.7	6.3
ゴールドラッシュ	慣行	8.5	—	75.1	8.0	5.1	53.3	16.7	8.4
	切り上げ	15.5	83.1	68.1	8.0	4.8	40.4	14.0	6.0
サムライ08	慣行	7.3	—	90.3	9.4	5.5	70.6	18.9	8.1
	切り上げ	11.9	62.7	81.2	9.9	5.3	50.4	16.5	6.5
プリランテ	慣行	11.2	—	78.8	10.4	5.0	52.6	19.5	7.1
	切り上げ	16.2	44.6	71.4	9.8	4.8	40.0	17.4	5.8
リメンブランス	慣行	11.2	—	79.3	8.6	5.0	51.2	16.6	7.5
	切り上げ	17.0	51.8	69.7	8.5	4.8	38.4	14.2	6.2

1) 慣行：アーチング栽培による株元採花。

切り上げ：ベーサルシュートを株元から15cm残して採花し、以後は5段目まで5cmずつ切り上げ採花を行い、5段目以降は、1段ずつ切り下げる方式。「アバランチェ+」及び「ヴァニティールージュ+」では11月切り上げ開始、その他の品種の「ゴールドラッシュ」、「サムライ08」、「プリランテ」及び「リメンブランス」では6月切り上げ開始。

栽培条件：プランターに培養土を入れた少量土壌培地耕。換気温度：28℃、夜温：18℃。

2) 採花は令和元年10月4日から令和2年5月1日（2年生株）。切り花長が40cm以上、切り花重が20g、茎径が4mmを超える切り花品質のものが調査対象。

3) 慣行に対する採花本数の増収率。

4) 切り口から1cm上部を測定。

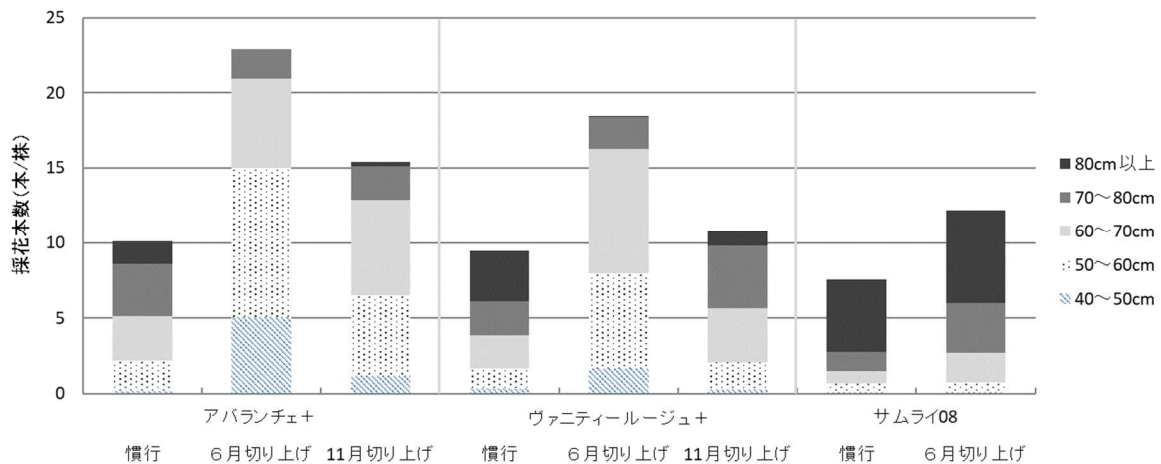


図2 切り上げ時期の違いが階級別採花本数に及ぼす影響

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

バラ栽培における効率的な秋冬期増収技術の確立・平成29～令和元年度・花き研究室